



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISH(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER, 2-18-12 NISHWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

国際会長主題 「信念、愛、行動」
アジア会長主題 「信念と愛を持って行動しよう」
東日本区理事主題 「ワイズのらしさ再発見」
あずさ部部長主題 「垣根を低くし、活発な活動を」
東京西クラブ会長主題 「居心地の良いクラブでワイズライフを楽しもう」

2025 年 10 月号

NO 589

あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずです。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。

(コリントの信徒への手紙—10：13)

今もこれからも

神谷 幸男

「戦争や紛争のもっとも痛ましい犠牲者は子どもたちです。世界では、6人に1人の子どもが紛争や戦争の影響を受けた環境で暮らしています。多くの子どもたちが日常をうばわれ、不自由な避難生活を強いられ、教育の機会を失い、命を落としています。

近年、紛争が急増し長期化していることで、これまで国際社会が積み上げてきた子どもたちのための進展も後退しつつあります。(中略)

ユニセフは、紛争下における人道支援はもちろん、停戦や終戦が実現した場所であっても、紛争の原因となる社会課題を解消することで再発リスクの軽減に取り組んでいます。保健医療、安全な水の供給、衛生面の整備、教育、

心のケアをふくむ子どもの保護といった基礎的な社会サービスを子どもたちが公平に利用できるような体制づくりの支援もおこなっているのです。(後略)。

これは最近目にしたユニセフの活動報告の一部です。

25年前に地域の仲間10数人で立ち上げたNPO法人「未来をつなぐ子ども資金」で内容・規模でこそ比べ物にはならないけれども、目指すところは軌を一にしている点、継続活動していてよかったと思っている。自分としては今後でもできることを継続活動して行きたいと思っている。



霧の中、黄色に染まる富士山5合目登山道の草紅葉

富士山例会初参加

村野絢子

9月27日、日本一高い所で行われる富士山例会に出席した。モーリシャスの4女の百合の3女(孫)で家に滞在している沙良が行きたいと2人申し込もうとすると、「家の息子たち(孫たち)は東山荘のプログラムで何度も登頂したが、私は5合目まででも行

(P4上段へ続く)

クラブ役員

会長 神谷 幸男
副会長 本川 悦子
書記 村野 繁
会計 篠原 文恵
担当主事 波々壁 賢

9月の記録

在籍者数	11人	武蔵野多摩	4人	ニコニコ	9,562円
出席者数	10人	たんぽぽ	4人	クラブファンド	0円
メーキャップ	1人	ビジター	4人	ファンド残高	44,715円
出席率	100%	ゲスト	2人	ホテ校ファンド	5,412円
ZOOM参加	3人	出席者合計	22人	ホテ校残高	11,435円

10月合同例会のご案内

強調テーマ：

爽やかな秋の候となりました。皆様もこの夏の暑さで減退した活力も元に、いやそれ以上に漲って（みなぎって）いることでしょう。

今月はアフガニスタンで6年前に亡くなられた中村哲医師のDVDを鑑賞して、隣人に配慮する精神を磨きましょう。

日時：10月16日(木) 18:30～20:30

会場：東京YMCA山手センター 303号室

会費：1,500 円

ミーティング ID：896 9185 4654

パスコード：942263

HAPPY BIRTHDAY

6 日 山下 さつき 16 日 江夏 一彰

受付：篠原・服部・山口
司会：石井 元子

開会点鐘	東京西クラブ会長	神谷 幸男
いざ立て斉唱		一 同
聖書朗読・祈祷		大野 貞次
会長挨拶		神谷 幸男
ゲスト・ビジター紹介		3クラブ会長
会食		

卓話 DVD上映「荒野に希望の火をともし」
観賞後の感想 若 干 名

ハッピーバースデー

ニコニコ

連絡・報告

閉会点鐘

一 同
各 担 当
東京武蔵野多摩クラブ会長
渡辺 大輔

ー9月事務会報告ー

日時：9月18日(木)

16:30～17:55

会場：阿佐谷地域区民センター
第8集会室

出席者：石井、神谷、河原崎、
篠原、本川、村野絢、
村野繁

<報告事項>

◇9月3クラブ合同例会

◇会計報告

<協議事項>

◇行事・集会等参加者

10/5 山手センターまつり：未定

10/25～26 栄村コシヒカリ特別
例会：篠原、本川、神谷（日
帰）

◇10月例会：DVD 上映

タイトル：荒野に希望の火を灯す
内容：2,000 年に起きたアフガ
ニスタン、パキスタンでの大旱
魃による農業大被害救済のた
めの用水路を建設した中村
哲医師の感動かつ人間の生き
方に示唆を与えるドキュメン
タリー

◇ブリテン 10 月号：「夏の思い出」
前月号の続きを掲載する。

(神谷幸男)

今後の行事予定

多くの参加者で集会を盛
り上げよう！

◆10月25(土)～26日(日)：
長野クラブ栄村コシヒカ
リ特別例会

◆10月29日(水)在京12
クラブの会

◆11月1日(土) You & I コ
ンサート

◆11月2日(日) 港区あい
ぶらまつり

◆11月9日(日) 江東バザ
ー

◆11月15日(土) 国際協力
街頭募金（新宿駅周辺）

◆11月23日(日・休)：
第39回大江戸ファミリー
ウォーク

◆11月26日(水)在京12
クラブの会

◆12月19日(金)在京12
クラブの会



荒野に希望の灯をともし

～医師・中村哲 現地活動35年の軌跡～



「この国ではどうして毎日患者が増えるのだろう。問題はどこにあるのだろう」

中村がたどり着いた答えは、“水”だった。

アフガニスタンに新たに川筋を作り、現地では親しみを込めて、「カカ・ムラド」＝中村のおじさんと呼ばれた中村哲医師。

2019年12月に武装勢力に銃撃され、この世を去ってから約6年が過ぎた今、彼の源流をたどる。

について話してくれました。

(村野 繁)

出席者＜メンバー＞宮内・山口・渡辺・田附（東京武蔵野多摩）、藤江・小原・服部・望月（東京たんぽぽ）、石井・大野・神谷・河原崎・篠原・高嶋・本川・村野繁・吉田・波々壁（東京

西）、＜卓話＞大谷博愛（東京サンライズ）、＜ビジター＞小仁恵子（東京グリーン）、小山久恵・柴田弘子・御園生好子（東京サンライズ）、＜ゲスト＞大津桃子（山手センター館長）、江尻明子（スペースさんかく）、＜ZOOM＞宮内（東京武蔵野多摩）



－ 9 月 合同例会報告－

18 日 3 クラブ合同例会は東京山手センターの 303 教室でした。司会是小原史奈子さん、開会点鐘は東京たんぽぽ会長・藤江喜美子さんと、東京武蔵野多摩の主事が変わりましたので、田附和彦新主事の入会式がありました。

卓話は東京サンライズクラブ・

大谷博愛さんの「平和を求めて」。同クラブのチャーターメンバーとしてワイズメンとなりました。

彼は 30 歳から 40 年間政治学を講義して現在は年金生活者だそうです。

デモクラシーの政治原理は①立憲主義、②国民主権、③権力分立、④議会主義、⑤多数決の原理、



夏の思い出その 2



調布の花火大会

河原崎和美

9 月 20 日に調布花火大会が開催されました。孫夫婦からの誘いで私と娘も一緒に打ち上げされる真下の有料席で観覧することができました。

その日は朝からお弁当を作りリュックを背負い、浴衣を着た若者たちも多く元気な若者を見ると、日本も捨てたものではないなと思いながら駅から 2 キロ弱の多摩川の会場まで歩きました。



花火は本当に素晴らしく素敵な夏の思い出になりました。生後半年のひ孫も泣くこともグズることもなく頼もしく、私

もまだまだ元気でいなくて、と心新たに思いました。

わが家の温度対策は

村野 繁

今年の夏は特に暑かったので、部屋の温度管理が大変だった。

そんなに室温が高くないときは、南と北の扉を開けて風を通しました。もう少し温度を下げるときは、扇風機を回転させます。更に室温を下げるには、南北の扉を閉じて、クーラーを稼働します。更に扇風機を回転させます。

この作業をいつの時点で行うかがポイントでした。

ウン十年前の夏の思い出

神谷 幸男

その頃、街の中で樹木のあるところでは昼間はアブラゼミ、夕方になるとヒグラシの鳴き声で賑やかだった。池の傍や草むらのあるところでは無数のシオカラトンボが飛び交っていた。

しかし、少年どもにとっては貴重品ともいえるあの美しい姿で大きなギンヤンマは殆ど見当たらず、少年どもはその捕獲を競い

合っていた。捕まえた少年は英雄扱い。

天候によるのだろうか毎日ではないのだが、夕方、風も涼しく穏やかに吹くころになると、電信柱よりも 2～3m 高い上空を西の方からギンヤンマが 1 匹ずつ飛んできて東の方へ去って行く。これを捕まえようとする。

誰に教わったか全く覚えがないが、70cm 程の黒っぽい糸の両端に錘をつけた自家製の「捕獲器」を用いる。これを西の方から飛んでくる敵の前方 2～3m に投げ上げる。うまく投げ上げるにはコツがある。敵が餌と間違えてか逆 U 字型に落下してくる「捕獲器」に食いついてくれば、糸に絡まれてヒラヒラと地上に落ちて来るところを走って行って捕まえる。そして皆に得意になって自慢するのである。しかしこの捕獲方法、同調者なし。実行者は我が身 1 人であった。

この経験、トライ 3 回、成功 1 回のみ。

富士山例会初参加

P1 右段から続く

きたい」と次女の愛が加わり、隣に住む登山経験豊富な義妹の温子さんも「富士山は未だで、参加したい」と合計4人の村野グループ参加となった。

会場となる佐藤小屋は5合目から少し上の高度2,250mに立っている。新宿バスタから定刻9時35分に出発し、なんと3時間後12時30分には富士山5合目のバス停に到着した。舗装された登山道路は不安を感じることなく、5合目の駐車場・売店付近には多くの人が来ていた。

参加費15,000円で登録を済ませ、着いてすぐ近くのキノコ取りに行った愛と沙良が戻ってきて、詳しい人に調べてもらおうと食べられるものはごくわずかだった。

温子さんは気圧のせいで頭痛がすると言ひ、私はドクターストップで静かにしていた。3時半に広間に集合し第1部、東京サンライズ・東京武蔵野多摩・富士五湖合同例会開始。開会点鐘、ワイズソング、会長挨拶に続きゲストの鈴木伊知郎次期東日本区理事、山口直樹あずさ部長、竹山・京都洛中クラブ会長の紹介挨拶、報告、ニコニコ、点鐘、その後尾崎ユタカ氏の東京芸大入試にまつわるミニ卓話があり(面白かった)、第2部ではトウモロコシ・鶏肉・豚肉・キャベツ・焼きそば等が次々と運ばれた。富士山でライブを聴き、歌ひ、今回は参加者50人中近隣にお住いの日帰り組は8時半にまとめて下山した。山小屋もコロナの影響によりベニヤ板で仕切られた2段ベッド、そして厚いマットレスとたっぷりした寝袋、

枕と毛布も用意され、寝心地は上等。満天の星を観に外に出る人、明朝4時半出発のご来光に備えて眠りに入る人、薬を飲む人、寒い外のトイレを出入する…、人それぞれに過ごす。翌28日は御来光から戻った人と20人ほどで朝食、8時半佐藤小屋出発、富士山科学研究所ガイドウォーク、温泉、昼食、解散。帰りは電車で富士山駅から立川・吉祥寺経由で西永福に帰宅した。数日後、注文していたルバーブを本川さんが届けてくださった。家のレモンとグラニュー糖にブルーベリーを加えてジャムを作り、「富士山のルバーブジャム」を近隣、散歩グループの友人等にお配りした。担当ワイズの皆様、行き届いたおもてなしありがとうございます。両手にストックの83才も参加した、「富士山例会はおいしい」。

YMCA Today

■ホテル学校では今年も1年生が8月下旬に野尻湖スポーツ合宿に行ってきました。1年生は9月第2週からホテル実習が始まりましたが、2学期は2年生を中心にたくさん学校の行事があります。先日行われたチャリティーランでは5位と大健闘でした。学生は久しぶりの全力疾走に向け準備を整えて挑んだ結果です。10月は和食と中華のテーブルマナーがあり、山手まつり、11月の国際協力街頭募金とYMCAイベントへの参加もいたします。そして12月には海外研修があります。今年は香港・マカオコース、バンコクコースに分かれ実施します。旅程やお買い物を計画する楽しい時間がこれから増えてきそうです。

■「第39回東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン2025」が9月27日に都立木場公園で開催。企業・団体・東京YMCA各部署など43チームがエントリー。ランナーと伴走者が力いっぱい走りました。お手伝いのボラン

ティアや応援者なども大勢来場し、たくさんの方に支えられた大会となりましたことを感謝申し上げます。

■9月1日、「関東大震災第102周年記念追悼合同早天礼拝」を、在日本韓国YMCAと共催で、在日本韓国YMCAで開催し、45人が出席しました。李明生牧師(日本福音ルーテル教会 むさしの教会)に「その日を望みつつ」と題してメッセージをいただきました。

■東京YMCA高等学院が小田原短期大学等と協働で実施している「ホテル観賞会研究プロジェクト」が特定非営利活動法人キッズデザイン協議会主催「第19回キッズデザイン賞」の「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門」で受賞しました。在校生・卒業生・スタッフが「ホテル観賞会」とその研究に関わり、3年間で延べ850人以上の子どもたちに安心して豊かな自然体験の機会を提供しています。

担当主事 波々壁 賢

編集後記

今夜は「満月」であることは何かで見て承知していましたが、「中秋の名月」であることには気が付かず、自然を讃える気持ちの減退さを思い知らされた日でした。更に「名月」を鑑賞することも忘れる有様でした。さて、今月号も発行が遅れてしまいました。日頃の記事を集める意識の薄弱さを反省しています。今月号も「夏の思い出」を継続掲載しました。原稿を寄せてくださった方々に感謝します。また、毎月定番記事を書いていたお二人に改めて感謝いたします。

クラブライフが楽しくなるブリテンを皆さんとご一緒に作ってまいりましょう。(S.K)

